

岳北広域行政組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進捗状況について

岳北広域行政組合では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、当組合が実施している事務及び事業に関し、省エネルギー化などの取組を推進し、温室効果ガスの排出量を削減することを目的として、「岳北広域行政組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しました。

この計画は、2018年度を基準年度とし、2020年度から2030年度の期間において、二酸化炭素の排出量を基準年度比で5%削減することを目標としています。

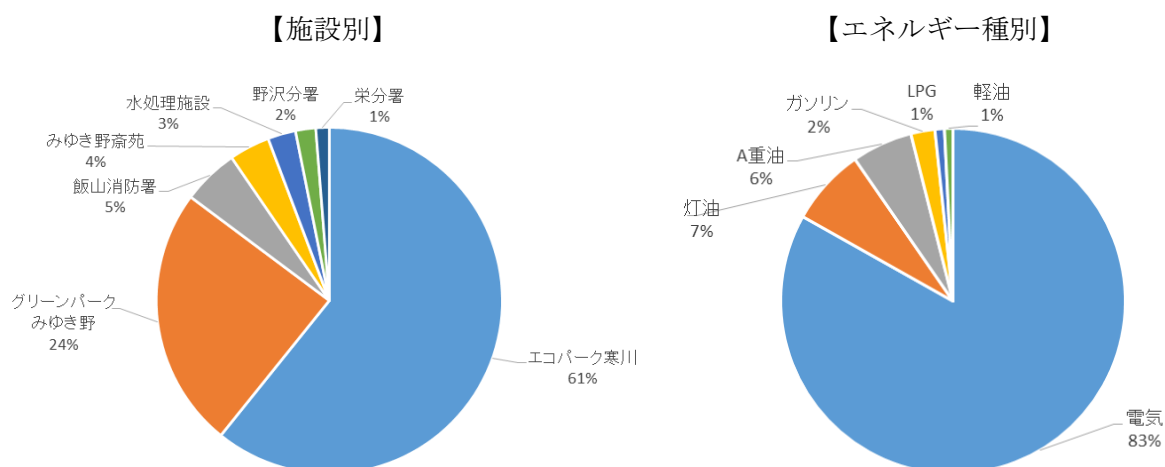
1 温室効果ガス総排出量

2020年度の、岳北広域行政組合の事務事業に伴う「温室効果ガス」は、1,521.81 t-CO₂となり、基準年度（2018年度）比で384.67 t-CO₂（20.2%）減少しました。

区分	基準年度 (2018年度)	2020年度	増減率	
			基準年度比	計画目標
温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	1,906.48	1,521.81	△ 20.2%	△ 5.0%

施設別では、エコパーク寒川が全体の61%を占め、次いでグリーンパークみゆき野24%、飯山消防署5%となっています。

エネルギー種別では、電気が全体の83%を占め、次いで灯油7%、A重油6%となっています。



2 計画の進捗状況

実行計画では、温室効果ガス排出量を5%削減することを目標として定めており、2020年度の排出量は、基準年度比で20.2%削減となりました。

今後も実行計画に基づき、省エネルギー化などの取組を推進し、温室効果ガス排出量の削減に努めます。

